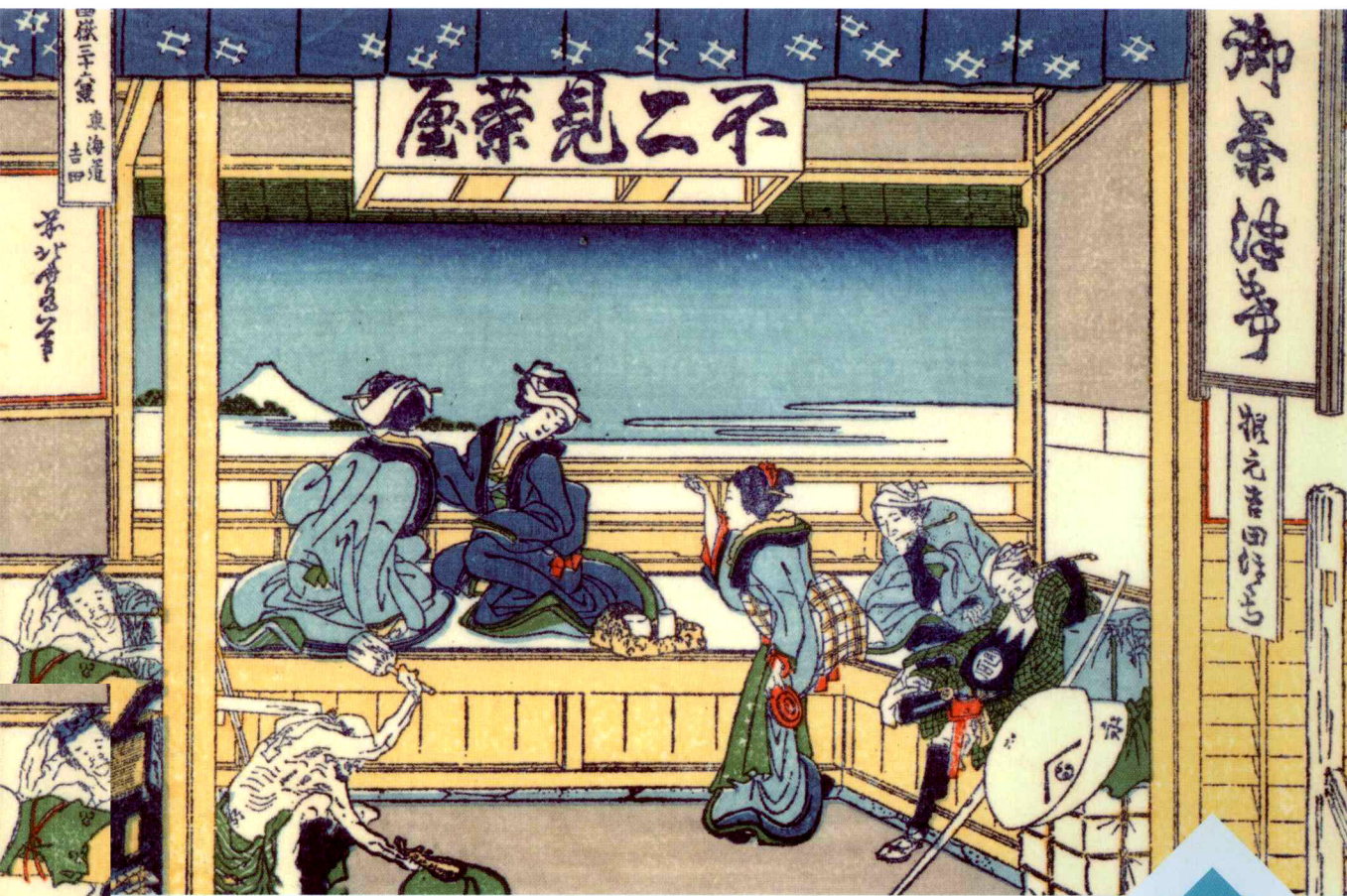


日语专业系列教材

新编日本国家概况


主编◎吴 宏 副主编◎姚 希



日语专业系列教材

新编日本国家概况

主编◎吴 宏 副主编◎姚 希

 华东师范大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新编日本国家概况/吴宏主编. —上海: 华东师范大学出版社, 2012. 5

ISBN 978-7-5617-9567-5

I. ①新… II. ①吴… III. ①日本—概况—教材
IV. ①K931.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 108803 号

新编日本国家概况

主 编 吴 宏
责任编辑 孔 凡
装帧设计 卢晓红

出版发行 华东师范大学出版社
社 址 上海市中山北路 3663 号 邮编 200062
网 址 www.ecnupress.com.cn
电 话 021-60821666 行政传真 021-62572105
客服电话 021-62865537 门市(邮购)电话 021-62869887
地 址 上海市中山北路 3663 号华东师范大学校内先锋路口
网 店 <http://hdsdcbs.tmall.com>

印 刷 者 浙江临安曙光印务有限公司
开 本 787×1092 16 开
印 张 25.25
字 数 520 千字
版 次 2013 年 2 月第一版
印 次 2013 年 2 月第一次
书 号 ISBN 978-7-5617-9567-5/H·587
定 价 54.00 元

出 版 人 朱杰人

(如发现本版图书有印订质量问题,请寄回本社客服中心调换或电话 021-62865537 联系)

前 言

日本在过去一个半世纪的巨变,给亚洲乃至世界带来了巨大影响。日本这个民族在崛起的历史中表现出一种吸收新思想并使之适应自己特殊文化背景的独特能力。日本的历史和地理哺育出一个异常单一的民族,并赋予了他们这种能力。多少世纪以来,他们创建出各种社会体制,形成了独特的风俗习惯和民族特点,这些民族特点所带来的力量,帮助日本在十九世纪迅速走上资本主义道路,并在二战后较为从容地摆脱危机,跻身于世界主要工业国之列,变为一个具有较高物质、文化和知识水平的先进工业社会。

从大化改新起,日本人为了改变本国的落后局面,效仿隋唐时期中国的先进制度和文化,创造了封建时期繁荣的日本文化。明治维新又使日本加速了与西方资本主义国家的联系,使日本走上了近代资本主义的道路,最终加入了资本主义阵营。日本社会的发展一直受到外来文化的影响,形成了一个独特的体系。

作为与中国一衣带水的邻邦,日本在经济、文化等各个方面的发展、变化,对中国无疑产生了重要影响。自1972年中日邦交正常化以来,两国在政治、经济、科技、文化等诸多领域的交流与合作日益加深,如何与这个“邻居”世代交往,避免在跨文化交际中产生不必要的冲突,仅仅掌握“日语”这门语言是不够的,还必须要掌握其社会、文化、政治、经济、教育等领域的相关知识,了解两国在这些方面的异同,并使之为己所用,这才是日语学习的终极目标。为了适应这一需求,使学生能够通过深入浅出的讲授和活泼有趣的活动加深对日本这个国家的全面了解,我们将传统教学法与任务型教学法有机结合起来,编写了具有时代特色的《新编日本国家概况》。

本教材适合大学日语专业二年级以上的学生和同等程度的日语爱好者使用。在编写过程中,我们吸取了任务型教学法的研究成果,改变传统的以内容为中心的教学模式,注重以任务为中心,在任务的完成过程中,将“在做

中学习”的教学理念贯穿其中,即从学生的学习兴趣、生活经验和认知水平出发,倡导参与、体验、互动、合作与交流的学习方式和任务型的教学途径,发展学生运用日语进行思考和交际的能力,同时兼顾学生人文素质培养。简而言之,我们希望本课程的课堂教学不再只是知识点的传授,而是根据日常生活和日后职场活动中的实际需要,创设真实情景和接近真实的交际任务,培养学生在日本社会、政治、经济、文化、教育等领域用日语进行沟通的能力。

教材的主要特色

(1) 知识内容丰富。教材涵盖了日本国家的政治、经济、历史、地理、哲学、宗教、社会等诸多方面,以便使学生真切地了解相应的日本社会知识,培养跨文化交际的能力。

(2) 重视任务设计。教材的每一章节均设计了形式各异的任务,如问答、分组讨论、辩论、报告、调查等。通过完成这些任务,让学生准确理解知识、学会理性思考,提高运用所学的知识解决实际问题的能力,从而达到学以致用、学以致用的教学目的。

(3) 构建清晰明了的课程模块。教材打破了传统的课程体系,呈现出模块化的特征。根据课程安排,每一小节均设计了7个模块,其中不仅包括课文正文部分,还包括知识介绍、批判性思考、阅读拓展和交际任务等多元模块,旨在努力创造条件为学生提供真实的语言输入和输出机会。

(4) 注重合作学习和自主学习。教材根据学习内容,设计了不同的、开放性的探究活动,鼓励学生通过自主探究、合作探究的方式进行学习,以达到提高学生的创造性与主动学习能力的目的。

(5) 强调有效的课堂教学。基于以学生为主体的互动式课堂教学活动的需求,改变传统概况教材模式,在语言输入方面,形式多样;图文并茂,既增强了互动性,又便于拓展学生的知识信息。

(6) 突出探究学习。本课程的探究性学习,旨在鼓励学生独立自主地认识、思考和解决问题,培养探究意识和创新精神。在这一过程中,学生可围绕某一专题,主动地搜集信息,加工处理信息,并应用知识解决问题。为此,除

了在课文正文中设置了各种栏目,在课内及课后的练习中都注意强调探究性学习。既提供与课文有关的内容和丰富多样的各种资料,更提出富于启发性的问题,以促进学生展开更加积极的思维活动。

教材的呈现模式

本教材由概说和7个章节构成,分别介绍日本的地理、历史、社会、经济、政治、文化、教育等。每一节的教学内容按功能分为7个模块,依次呈现。

(1) 学习目标(学習の目標):通过设问问题呈现学习任务,目的是使学生在开始本单元的学习时,就能抓住核心问题,以增强学习的目的性,提高学习效率。

(2) 课程导入(スタート):导入部分一般是与本课内容紧密相关的具体情景。通过图片、问题等给学生提供一个探究的平台。有的侧重于导入;有的提供合作学习的背景、课题、路径。其目的是引导学生进入任务情境,帮助学生理解任务要求,减少学生在任务完成阶段的认知负荷。

(3) 正文(テキスト):是教材的主体部分,为了便于学生阅读,尽可能使用二、三年级学生能够理解的表达方式,对于一些难读单词,采取标注假名的形式以便学生学习。另外,每一小节的内容都设有一级标题和二级标题,通过这些标题使学生更加清晰地掌握学习重点。

为了改变学生的学习方式,增加知识性和趣味性,正文中间特插有多种栏目。主要包括:关键词注释(文中增设旁注,对于一些重点词语、概念进行简单解释,帮助学生准确理解正文)、小知识窗(介绍与课文内容有紧密联系的各种小知识)、话题展开(通过各种发散性思维,采取图示性说明、扩展性说明、解释性说明和引申性说明等方式丰富课文内容,激发学生的兴趣,加深对正文的理解)、设问专栏(通过设问方式调动学生的想象力,充实相关知识)等。这些内容作为教材内容的补充,为教材的中心逻辑服务。由于这些设计不是简单的堆积,而是根据教学内容的推衍、思维逻辑的需要而精心安排的,所以它形散而神聚,为教学内容的主旨服务。

(4) 文化之窗(文化ノ一ト):这部分采用中文形式,对课文中涉及的一些具体现象进行简要的分析和注释,帮助学生更好地理解课文、扩展知识结构。

(5) 课程复习(レッスンの復習と練習): 这是根据正文部分编写的一个练习模块,其中分为A组和B组两种形式。A组练习形式多样,内容丰富。其目的是配合课堂教学,进一步巩固所学知识。学生可以采取自我练习为主的方式,也可采用自我评价的方式掌控自己的学习情况。B组练习可采取课后分组讨论、辩论等方式进行,重点突出实践性和开放性。其目的是帮助学生培养提高搜集资源、查阅资料的能力,提高他们学习的能力,真正做到学以致用,同时也可锻炼学生的语言综合能力和口语表达能力。这部分练习强调学生合作学习,因此可以提前安排,让学生利用课余时间查找资料,最后整理总结,并将最终成果呈现出来。

(6) 个案分析(ケーススタディー): 此部分属于补充性学习。通过与课文相关的案例,透视日本社会的某些现象,使学生更加深入地了解 and 掌握日本与中国的个性和共性,鼓励他们就某一主题对中日进行横向、纵向对比或主题发言,提高学生在学习过程中发现问题和思考问题的能力。

(7) 拓展阅读(もつと知りたい): 此部分属于拓展性学习。选取一篇与课文主题部分相关的拓展阅读材料,为学生纵深了解日本提供了又一个视角和平台,锻炼学生解读、分析信息的能力。

此外,本教材的语言力求简明、朴实、活泼、深入浅出;课文配以丰富的数字、图表、图片和漫画等烘托主题,将重要的知识点尽可能以直观明了的形式展现出来,便于学生阅读、理解和把握。

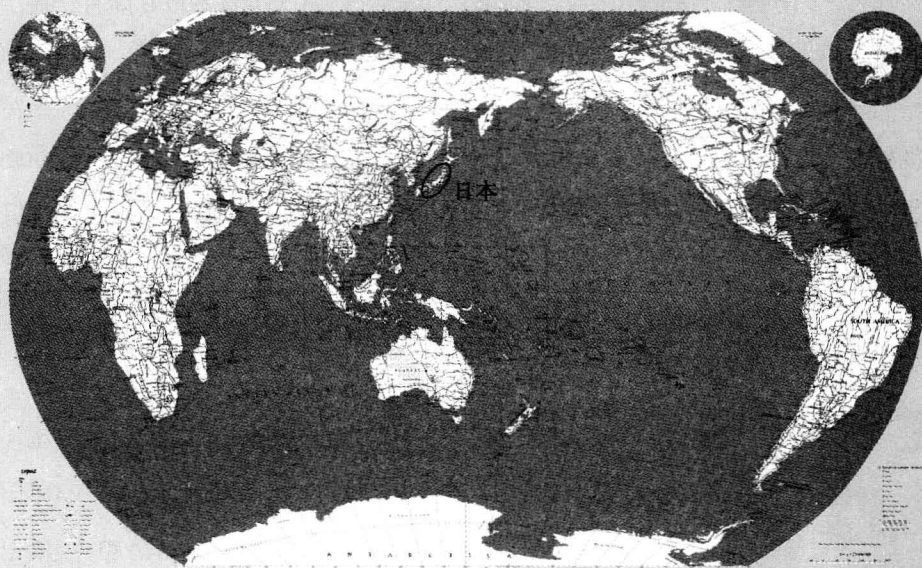
本教材在编写过程中,得到了崔昆老师、峰岸朋子老师的热情帮助以及李钦水、林腾江同学的大力协助。华东师范大学出版社的孔凡编辑对本教材的策划和修改提出了许多富有建设性的意见,谨在此一并表示最诚挚的谢意。

本教材是对日本概况教学改革的一次大胆尝试,希望能够使学生了解日本并对日语学习有所帮助。由于学识所限,难免有疏漏和错误之处。敬请各位专家、学者以及使用本教材的老师和同学给予批评指正。

编者

2012年8月

日本を知る旅へ



上の写真を見ると、日本はアジア大陸の東の海の中に位置して、南北につながっている弧状列島からできていることがわかる。世界の約 360 分の 1 の面積を占めている日本は 100 年あまりのうちに、生活水準の低い農業国から、先進的な工業国になった。こんなにすばらしいスピードで発展してきた日本のことについて、どれくらい知っているだろうか。

日本民族は歴史の流れで、世界の新しい文化を取り入れて、それを自国に相応しいものに改造する独特な能力を養った。大化の改新前後、中国隋唐の文化を大量摂取し、19 世紀、明治維新によって、ヨーロッパやアメリカを手本として、こ

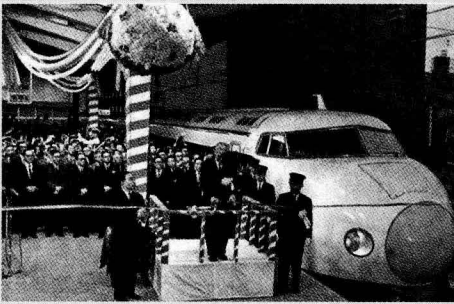


大化の改新期の遣唐使船

これらの国の文化をどんどん吸収し、近代国家としての形態を整え、日本の近代

工業もめざましく発展した。その結果、海外での市場や資源の確保への要求が高まり、軍国主義の台頭をも招き、第二次世界大戦への道を歩んだ。

第二次世界大戦後、日本の地位は大きく変容した。政治的にも経済的にもアメリカとのかかわりが深くなっている。日本では、軍国主義を取り除き、民主主義を強化し、基本的人権の尊重を確立する新しい憲法が制定され、農地改革や財閥解体、労働組合育成など経済民主化政策が押し進められた。1950年代後半から経済の高度成長政策に伴って、工業生産力が増大し、国際競争力が強まり、さらに60年代に貿易と資本の自由化がなされてからも、輸出が増え続けた。また、電気製品や自動車などすぐれた技術力に支えられた機械工業も、国際競争力を強めており、先端技術産業も成長を続け、日本経済は世界経済の中で重要な地位を占めるようになった。



1964年10月1日超特急ひかり1号が初出発の式典

日本の経済進出は、世界各国にさまざまな影響を及ぼしている。1980年代に入って、アメリカや西ヨーロッパ諸国との貿易摩擦がより深刻になり、輸出を抑制する政策が取られている。また、サービス部門での需要が増え、第三次産業の就業者の占める割合が増加し、「経済のサービス化」が進みつつある。

一方、高度経済成長を経て、日本人の暮らしも大きく変化した。新幹線や高速道路、航空網が整えられ、国内の時間距離は新幹線沿いでは大幅に縮まった。人々の所得が増えるにつれて生活水準は向上し、電気製品が普及するなどして、暮らしが便利になった。

都市には、大学や専門学校などが増え、人々の高学歴化が進んできた。教育の多様化を図るために、1971年に日本は幼稚園から大学に至るまで学校教育全般について教育改革が行われた。また、栄養水



施設での介護

準の上昇や公衆衛生・医療技術の改善は、日本人の平均寿命を世界のトップクラスに押し上げた。高齢社会を支えるために、日本では、「国民皆年金・皆保険」が実現し、介護保険制度も導入された。

一方、経済の成長により暮らしは豊かになったが、逆に失ったものも少なくなかった。大気汚染や河川の汚濁、森林の破壊など自然環境の悪化が進んでいる。また、都市化の進展とともに、人々は都市へ移り住むようになり、団地と呼ばれる集合住宅が現れ、おおぜいの人々の暮らしが、大家族中心から核家族中心へと変わってきた。核家族中心の暮らしでは、暮らしの知恵や文化が世代をこえて受け継がれる機会は少なくなり、年中行事や地域社会とのかかわりも薄くなった。

グローバル時代の今日では、世界各地の社会や文化はいろいろな変化が見られる。国際社会と深い関わりをもっている日本もだいぶ変わった。和服を着るのは主に結婚式などの特別のときだけとなり、家族のあり方も「家」を中心とする考え方から、自由と民主主義を基礎とする個人主義のほうが好まれるようになった。とはいえ、日本の伝統的なものはすべて捨てられたわけではなく、日本でも食事が洋風化した。米を主食とする食文化が完全になくなってしまったわけではない。日本人は、伝統的な文化と外国から取り入れた文化をうまく合せて、今日の社会を形づくってきたのである。そのため、日本人とのコミュニケーションの中で、誤解を避けるために、日本及び日本人についてさまざまな知識を身につけ、総合的に理解することが大事である。

では、楽しい日本を知る旅は、いよいよ始まる。

目次

日本を知る旅へ 1

第一章 日本の地理 1

第一節 日本の自然環境 3

国土 4

地形 6

気候 12

自然災害 15

レッスンの復習と練習 21

ケーススタディー (岩手県)備えよ常に 22

もっと知りたい 防災体験館に行ってみよう 23

第二節 日本の各地方 25

北海道地方 26

東北地方 29

関東地方 32

中部地方 34

近畿地方 37

中国・四国地方 40

九州地方 43

レッスンの復習と練習 46

ケーススタディー 日本最大の平野——関東平野 48

もっと知りたい 美しい自然が誘う——日本三景 48

第二章 日本の歴史 51

第一節 幕末以前の日本 53

日本国の起源 54

律令国家の盛衰 58

幕府体制の形成と衰退 62

レッスンの復習と練習 68

	ケーススタディー 鎌倉幕府の仕組み	69
	もっと知りたい 小野妹子はどんな人だったのか	70
第二節	幕末以後の日本	72
	近代日本の形成	73
	資本主義の発展と四つの戦争	78
	戦後の改革と経済発展	84
	現代日本の歩み	89
	レッスンの復習と練習	92
	ケーススタディー 日本史上で空前の規模の抗議運動——安保闘争	93
	もっと知りたい 団塊の世代	94
第三章	日本の社会	97
第一節	日本人の暮らし	99
	住居	100
	着物	102
	食事	104
	交通	107
	レッスンの復習と練習	111
	ケーススタディー 女性用の正装和服	112
	もっと知りたい 日本新幹線 長年の地震対策が支える「安全神話」	113
第二節	社会保障	115
	社会保険	116
	公的扶助	121
	社会福祉	122
	レッスンの復習と練習	125
	ケーススタディー 社会保障給付、6割が「現状維持できず」11年厚労白書	126
	もっと知りたい 社会保障改革を強調 安定的財源確保が課題	126
第三節	公害問題	128
	典型7公害	129
	新しい公害	135
	レッスンの復習と練習	137
	ケーススタディー 四日市公害の現在	138

もっと知りたい 原発事故 繰り返さない 139

第四節 日本人の国民性と価値観 140

自然観 141

集団主義 142

勤勉意識と危機意識 144

「恥」意識 146

レッスンの復習と練習 148

ケーススタディー 日本人がどんどん進歩するのは、強い危機意識のおかげ 148

もっと知りたい 集団への帰属意識 149

第五節 家族 151

日本家族の変遷 152

核家族 153

非婚化・晩婚化 155

少子化 156

レッスンの復習と練習 159

ケーススタディー 年収 300 万円が男性の結婚ライン? 160

もっと知りたい 日本結婚状況の変化 161

第四章 日本の経済 163

第一節 日本経済の歩み 165

戦前の日本経済(1868~1945) 166

戦後の経済復興と高度成長(1945~1973) 170

経済の安定成長と景気低迷(1974~現在) 174

レッスンの復習と練習 178

ケーススタディー 日本の自動車産業 180

もっと知りたい 人気商品——テレビ 181

第二節 日本の産業構造 182

第一次産業 183

第二次産業 188

第三次産業 193

レッスンの復習と練習 196

ケーススタディー 学校給食を通じた県産魚の魚食普及 197

もっと知りたい 日本のロボット産業 198

第三節 日本の企業経営 199

日本の中小企業 200

勤務と処遇 203

日本的経営の特徴 206

レッスンの復習と練習 209

ケーススタディー 日本郵便年功改め成果主義へ 210

もっと知りたい 日本の「会社主義」 211

第四節 日本の貿易 212

日本貿易の動向 213

日本貿易の課題 216

レッスンの復習と練習 219

ケーススタディー 日本の対中直接投資 221

もっと知りたい 貿易が自由か保護か 221

第五章 日本の政治 223

第一節 日本のシンボル 225

国名・国旗・国歌 226

憲法 227

天皇・皇室・元号 230

レッスンの復習と練習 235

ケーススタディー 1992年、明仁天皇が初めて中国を訪問 236

もっと知りたい 日本国憲法と大日本帝国憲法の比較 237

第二節 日本の政治機構 239

国会 240

内閣 244

裁判所 250

レッスンの復習と練習 253

ケーススタディー 衆議院・参議院の違い 254

もっと知りたい 国会議事堂の歴史 256

第三節 日本の政党 257

日本の政党政治 258

	日本の主な政党	259
	レッスンの復習と練習	268
	ケーススタディー 自公連立の終結	268
	もっと知りたい 55年体制の成立	269
第四節	日本の防衛	271
	自衛隊の発足	272
	防衛省の概観	273
	防衛大綱の変遷	276
	日米安全保障体制の発展	280
	レッスンの復習と練習	281
	ケーススタディー 動的防衛力の構築	282
	もっと知りたい 自衛隊階級一覧(陸・海・空)	283

第六章 日本の文化と風俗習慣 287

第一節	文化	289
	日本文化の起源	290
	伝統的芸能	290
	伝統的芸術	295
	宗教	300
	日本語と日本文学	303
	マスメディア	306
	科学技術	307
	レッスンの復習と練習	309
	ケーススタディー 茶道と禅	310
	もっと知りたい ちょっと意外な仏教用語	310
第二節	風俗習慣	312
	国民の祝日	313
	年中行事	314
	通過儀礼	324
	レッスンの復習と練習	330
	ケーススタディー お辞儀のマナー	331
	もっと知りたい 正座	331

第七章 日本の教育 335

第一節 教育史の概観 337

近代教育制度の確立 338

二回の世界大戦と日本教育 342

戦後教育の再建と発展 345

レッスンの復習と練習 349

ケーススタディー 小学校英語必修先生の支援をしっかりと 350

もっと知りたい 土曜授業「復活」の兆し 351

第二節 教育行政 353

教育行政機関 354

教育に関する法律と基準 356

審議会の役割 359

レッスンの復習と練習 363

ケーススタディー 伝統文化を中学校の各教科書に導入する 364

もっと知りたい 日本の公的奨学金制度 364

第三節 学校教育 366

学校の設置 367

義務教育と高等学校教育 368

高等教育 370

レッスンの復習と練習 374

ケーススタディー 高校卒業後大学に進学か就職か 374

もっと知りたい 「三学期制」と「二学期制」 375

付録 377

1 日本の世界遺産 377

2 日本百景 377

3 日本の縁起物 380

4 忌み言葉 381

5 日本の開催した万国博覧会 382

6 ベスト50の名字(姓) 383

第一章

日本の地理

